

# エネルギー・地球温暖化対策 (エネルギーに関する諸問題(Ⅰ))

- ①国立研究開発法人日本原子力研究開発機構運営費交付金に必要な経費【文部科学省】
- ②全炉心混合酸化物燃料原子炉施設技術開発費補助金【経済産業省】
- ③海外ウラン探鉱支援事業補助金【経済産業省】
- ④濃縮ウラン備蓄対策事業補助金【経済産業省】
- ⑤緊急時放出に備えた国家備蓄石油及び国家備蓄施設の管理委託費(石油分)【経済産業省】

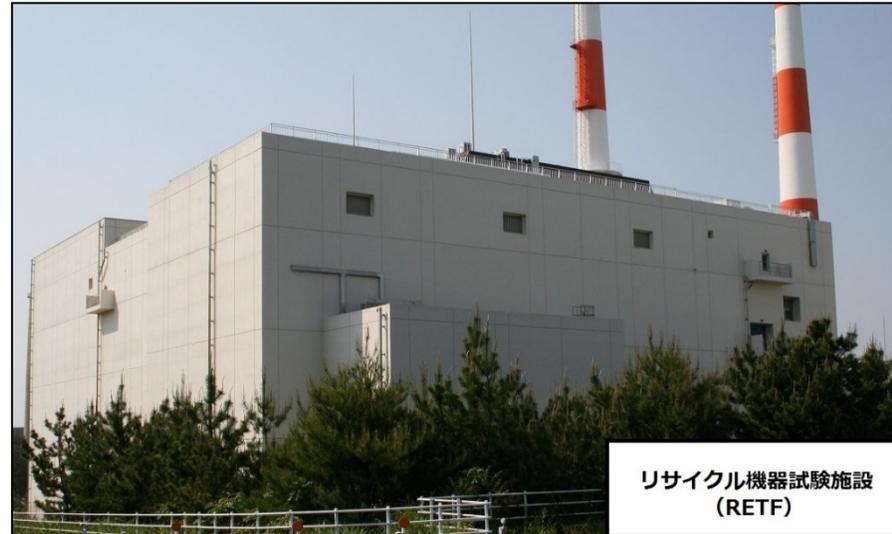
# ① 日本原子力研究開発機構(JAEA)運営費交付金、フルMOX炉技術開発関係

- 日本原子力研究開発機構(JAEA)は、原子力に関する基礎的研究及び応用の研究や人材育成、中長期的なエネルギー安定確保のための大型研究開発プロジェクト(高速増殖炉サイクル技術開発、核融合研究開発)等の取組を実施。JAEAに対する運営費交付金について、使用済燃料運搬船「開栄丸」やリサイクル機器試験施設(RETF)といった問題がある。
- さらに、フルMOX炉に対する補助金は、執行率が極めて低く、将来的な見通しが立たない中で必要性があるのか。



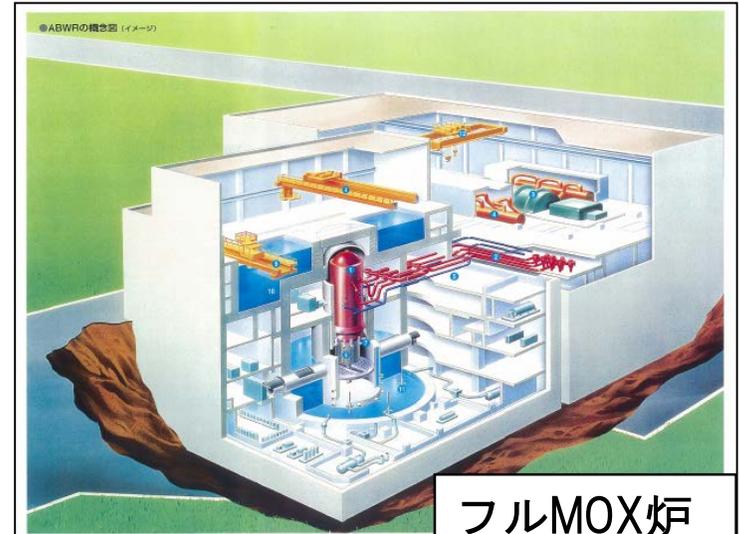
## 【ポイント】

- ・ ほとんど使用されておらず、将来的な利用の見通しがたっていない。  
それにもかかわらず、多額の費用(年間約12億)が発生。
- ・ 今後の見通しや将来的な選択肢を示すとともに、コスト削減に取り組むべきではないか。



## 【ポイント】

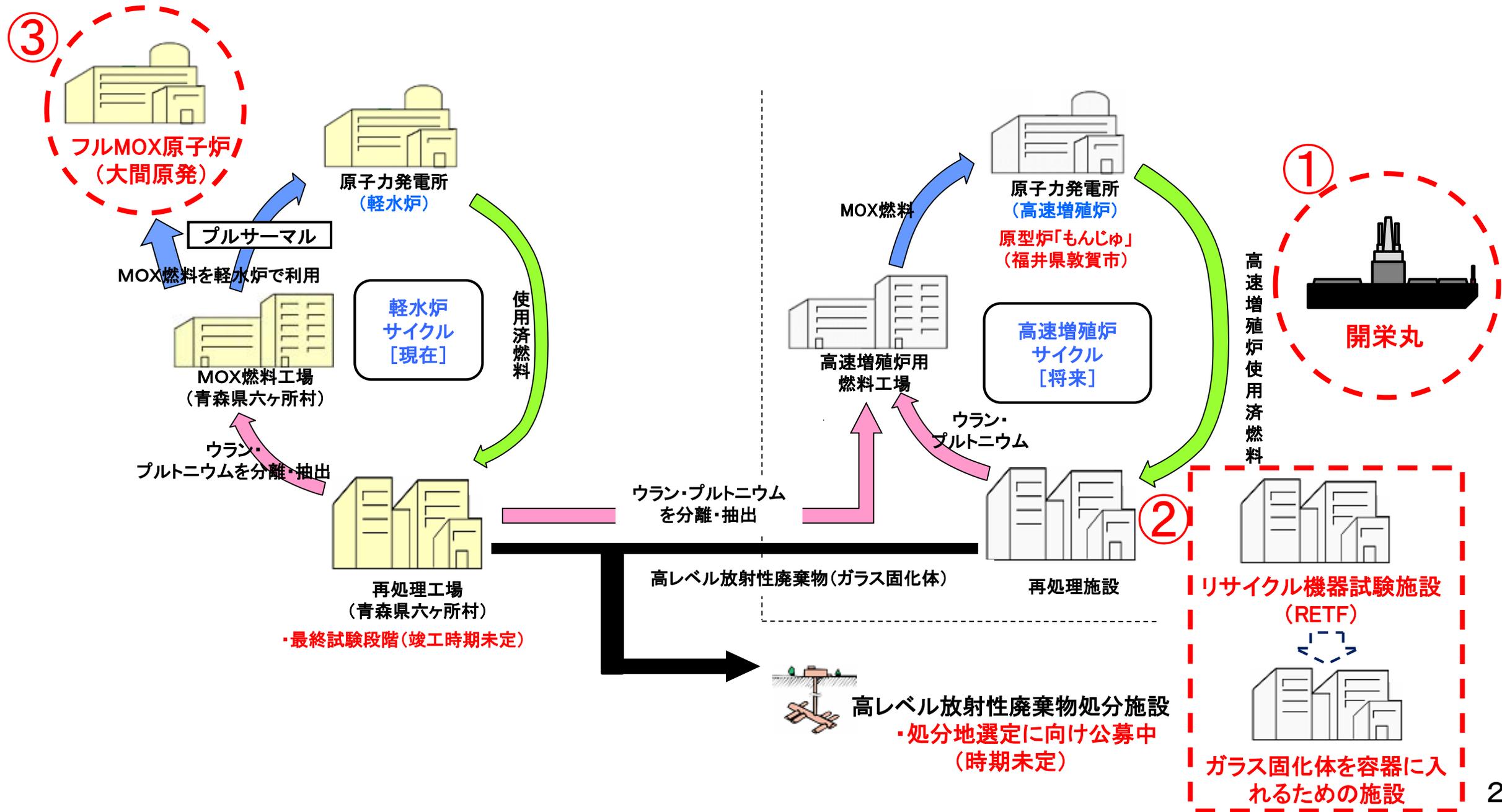
- ・ 最終処分場の立地のめどが立っていない段階で、高レベル放射性廃棄物を最終処分場に運ぶための容器に入れる施設への改造は時期尚早。
- ・ もんじゅ再開の場合には、再度改修工事した上で当初の目的として利用予定。その場合、改めて上記の施設を別の場所で用意することが必要。



## 【ポイント】

- ・ 平成8年から事業を開始しているが、平成24・25年の執行額がなく、平成26年度は執行率わずか4%。
- ・ 大間原発の運転開始時期が未定である現段階で必要か。

# (参考) 核燃料サイクルの仕組み



## ② 海外ウラン探鉱支援、濃縮ウラン備蓄関係

- 各事業について、以下のような問題があるが、事業の必要性や今後の見通しを国民にわかりやすく公開するべきではないか。

### ①海外ウラン探鉱支援事業補助金

平成19年度から毎年8億円程度の予算を投入しているが、成果指標にある自主開発率の実績は15%程度。

### ②濃縮ウラン備蓄対策事業補助金

IAEAからの要請など、国際的な必要性を鑑み、低濃縮ウラン備蓄量に関する成果目標を60トンとしているが、現状15トン。さらに、執行率が平成26年度で58%と低調。

#### <海外ウラン探鉱支援事業補助金>



海外でのウラン探鉱風景

#### <濃縮ウラン備蓄対策事業補助金>

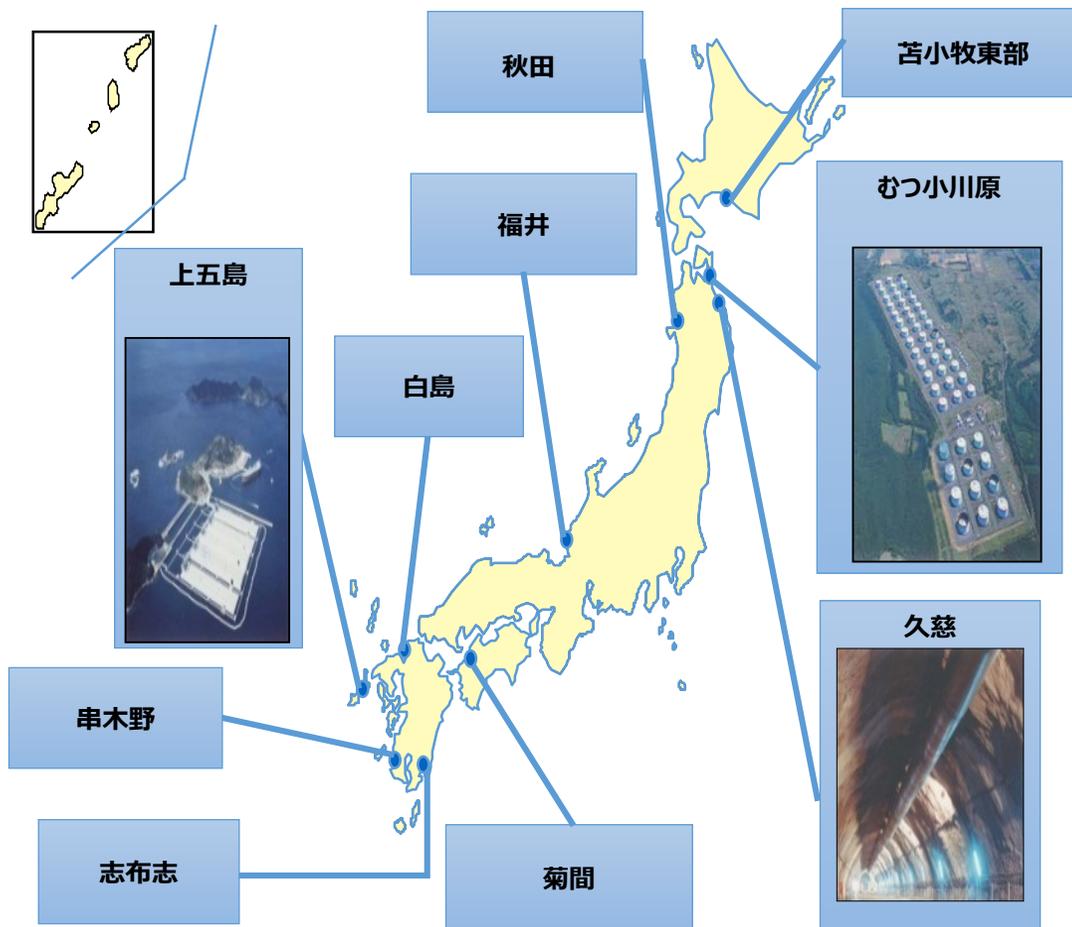


ウランの備蓄風景

### ③ 国家備蓄石油及び国家備蓄施設の管理委託関係

- 国家備蓄石油については、**全国10か所**にある国家石油備蓄基地に蔵置。**(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)に統合管理業務**を委託し、さらに**一般競争入札**により**8社の操業会社**に管理を委託。
- JOGMECからの委託先は**現状においても1社落札が継続**しているが、**入札方法の工夫等の競争の促進やコスト削減のインセンティブ導入等により、更なるコスト削減を図るべき**ではないか。

#### <国家備蓄石油の蔵置場所>



#### <国家備蓄石油の管理委託状況>



	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	白島石油備蓄株式会社	白島国家石油備蓄基地の操業	8,607	1	98.2
2	むつ小川原石油備蓄株式会社	むつ小川原国家石油備蓄基地の操業	6,591	契約延長	-
3	日本地下石油備蓄株式会社	久慈、菊間、串木野国家石油備蓄基地の操業	6,329	契約延長	-
4	福井石油備蓄株式会社	福井国家石油備蓄基地の操業	5,223	1	97.8
5	苫小牧東部石油備蓄株式会社	苫小牧東部国家石油備蓄基地の操業	4,222	契約延長	-
6	秋田石油備蓄株式会社	秋田国家石油備蓄基地の操業	3,707	1	99.8
7	上五島石油備蓄株式会社	上五島国家石油備蓄基地の操業	3,693	1	99.3
8	志布志石油備蓄株式会社	志布志国家石油備蓄基地の操業	3,671	1	98.2